

# 園だより



第 5 号 令和 7 年 7 月 23 日

ばんけい幼稚園

一人一人の自己肯定感・自己有用感を高めることが成長の支え

園長 増子 義仁

今日で1学期が終了です。小学校から異動してきて4か月。子どもたちが毎日遊びを通して楽しみながら学んだり、気付いたりして着実に成長している姿は、本当に素敵だな〜と感じ日々過ごしてきました。中でも誕生会は、『その子一人一人がこの世に誕生してきたことが素晴らしい』としてお祝いをする日ですから【**自己肯定感**】を高める絶好の機会だと感じています。園としても大切な行事としていまして、その価値を理解して参加してくださっている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。自己肯定感の高い子ほど、多少のことでもへこたれない、粘り強く取り組むなどの力が育つと言われていまして、ですから、今後も大切にしていきたいと考えています。

誕生会の園長の話の中でお話しした、「今日は何の日」をここでご紹介しておきます。

- 4月24日 1924年北海道に初めて電話が開通 — 昔の黒電話の実物を子どもたちに見せました。自由に遊ばせると電話ごっこがスタート。なぜか相手はお祖母ちゃんだったようです(笑)
- 5月27日 百人一首の日(1235年) — 木のカルタだよと紹介。積み上げて遊ぶ子が大半でした。
- 6月26日 露天風呂の日 — 単なる語呂合わせです。クイズ形式でお知らせしました。
- 7月17日 漫画の日 1841年イギリス発祥 — ドラえもんワンピースの漫画本を紹介しました。今や日本の漫画やアニメは世界を席卷する一大文化ですね。

さて、以前元全日本の女子バレーボール監督 柳本昌一氏の講演を聞く機会がありました。その中で「全日本クラスの選手はみんな天才レベル。10年に一人の天才と言われるような子たちが消えていくこともたくさんある。その中でも不器用な子の方が伸びる。」というお話がありました。また、北海道大学の平野教授もある講演会で「器用な人は何でも自分でこなす。不器用な人は輪を作りコミュニケーションを広げる。」というお話をされていました。お二人のお話は結局『何でも一人でできる訳ではない。簡単に出せた結果より、自分で工夫し苦労し試行錯誤をして、他人と協力して得られた結果にこそ価値がある。』ということではないでしょうか。効率的なことが良いとされ、何でもスマホで調べられてしまい、すぐ結果を求めてしまう現代の風潮に対するちょっとした警鐘をいただいたような気がします。

私たちが日々の保育の中で、体験の積み重ねの中から、子どもたちが試行錯誤して気付くことを大切にしています。それが遊びを通して学ぶということだと思います。知識も経験も少ない幼児は、みんなが不器用と言ってもいいでしょう。その子たちにいかに、質の高い体験の積み重ねをさせてあげることができるかが、私たちの仕事と考え、これからも保育を進めていきます。

本日、園児たちに『園長先生からの夏休みのお願い』をしました。

- 1) 1日3回 しっかりご飯を食べよう。
    - ・夏休みだからといって朝寝坊して朝ご飯抜き、とにならないようにということです。
  - 2) おうちのお手伝いを『1つ』しよう。
    - ・是非、ちょっと苦労するけど試行錯誤してきちんと続けられるようなお手伝いを。
  - 3) 事故やけがをせず、楽しい夏休みを過ごしましょう。
- 充実した、安全で楽しい夏休みを過ごしてくれることを願っています。